

ワセダバンドスケール（介護版レベル診断）

レベル	読む	書く	聞く	話す
1	よく使う業務名、施設内の名称、利用者名を読むことができる。	よく使う業務名、施設内の名称、利用者名が書ける。	よく使う業務名、施設内の名称、利用者名が聞いてわかる。簡単なあいさつが聞き取れる。	よく使う業務名、施設内の名称、利用者名が言える。短い自己紹介ができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務名 ◆施設内の名称 ◆利用者名 	◆業務名	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務名 ◆あいさつ表現 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務名 ◆短い自己紹介 「はじめまして。〇〇です。どうぞよろしく。」
2	身体の部位、骨の部位、職員の呼称などの用語を見て意味がわかる。	業務でよく使うことばが書ける。 (PCで入力できる。)	利用者の身体に関する要求について聞きとり、大意が理解できる。 施設関係者の簡単な指示を聞きとり、理解できる。	利用者にあいさつができる。 一方的な声かけができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設の職員の呼称 ◆体の部位 ◆骨の部位 	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門用語の練習 ◆利用者の名前 	<ul style="list-style-type: none"> ◆体の部位 ◆骨の部位 ◆利用者の要求 「のどが渴いた」「背中がかゆい」 <ul style="list-style-type: none"> ◆施設関係者の指示 「体を拭く」「髪を洗う」	<ul style="list-style-type: none"> ◆一方的な声かけ 「体を拭きましょうか」 「髪の毛を洗いましょう」
3	定型的な書類を読んで理解できる。 専門用語、症状名が読んで理解できる。 記録で使う言葉を読んで理解する。	定型的な書類に記入できる。 専門用語、症状名が書ける 記録で使う言葉が書ける。	施設関係者の専門用語による指示が理解できる。 専門用語・症状名を聞いて理解できる。 記録で使う言葉を聞いて理解できる。 利用者と日常的な話題で会話ができる。	施設関係者と専門用語を使って話せる。わからないことを確認できる。自分の要求が言える。専門用語、症状名、記録で使う言葉が言える。 利用者と日常的な話題で会話ができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆バイタル／排泄チェック表等 ◆三大介助に関する用語 (刻み食、とろみ食／機械浴、半身浴／便秘、下痢など)	<ul style="list-style-type: none"> ◆バイタル／排泄チェック表等 ◆専門用語・症状名 ◆記録 	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門用語 (清拭・洗髪)	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門用語 「清拭しました」「洗髪します」

4	異常がない場合の記録が読める。 病名を読んで理解できる。	異常がない場合の記録が書ける。 病名が書ける。	利用者の要求や訴えを聞き、内容が理解できる。病名を聞いて理解できる。相手の気持ちに寄り添って聞くことができる。	利用者の要求や訴えの内容を他の人に伝えることができる。 病名が言える。 相手の気持ちに寄り添って話すことができる。
	◆書類・介護記録	◆書類・介護記録	◆利用者の要求を聞く ◆傾聴する	◆利用者の要求を伝える ◆あいづち・聞き返し
5	普段と少し違う様子がある時の記録が読める	普段と少し違う様子があっても、他の人の記録を参考にして書ける	利用者の身体的な欲求や訴えを聞いて対処できる。方言やていねいな表現を聞いてわかる。	利用者の身体的な要求や訴えに対処できる。ていねいな話し方ができる。
	◆書類・介護記録	◆普段と少し異なる記録 例「いつも一人で着替えるが、今日は手伝ってほしいと言った」	◆利用者の要求を聞く ◆申し送りへの参加	◆ていねいな言葉遣い ◆利用者の要求への対応
6	普段と大きく違う状況を記録した書類が読める。	普段と大きく違う状況を記録できる。	利用者の精神的な欲求や訴えを聞いて対処できる。 会議など、改まった場面での会話を聞いて理解できる。	認知症や難聴などの症状に合わせ、聞きやすい話し方や内容、ことば遣いを選ぶことができる。会議などの改まった場面で報告できる。
	◆書類・介護記録	◆書類・介護記録	◆申し送りへの能動的な参加	◆申し送りでの発言
7	問題発生時の状況などを読んで理解できる。	問題発生時の状況を記録に書くことができる。	問題発生時の状況を聞いて把握し、対応できる。	問題発生時の状況を報告できる。
	◆ヒヤリハット／事故報告書	◆ヒヤリハット／事故報告書	◆ケア会議等への参加	◆ケア会議等への参加
8	業務に関するさまざまな専門用語や長い文章を読み、理解し、対応できる。	業務に関するさまざまな文章が書ける。ケアプランに合わせ、どのように行動するか考えながら書ける。	業務に必要な全ての内容を正しく聞き取り、理解し、対応できる。	専門知識を活かし、場面や相手に応じた話し方で対処ができる。
	◆ケアプラン・さまざまな書類	◆さまざまな書類	◆ケア会議等への能動的な参加	◆ケア会議等での発言